

慶應義塾のこの1年

塾員の皆さまにもお送りしている「社中特別号」にあたり、この1年間にあった主な義塾のニュースをまとめました。各ニュースの詳細やその他の最新のニュースは、義塾Webサイト (<http://www.keio.ac.jp/>) で確認できますので、参照ください。

大学部開設125年記念式典・講演会開催

2015年は慶應義塾の大学部開設125年にあたる記念すべき年でした。10月24日(土)には、三田演説館にて記念式典と講演会が開催されました。大学部は、1890年(明治23)年1月に文学・理財・法律の3科を設置し発足し、開設時には当時のハーバード大学エリオット総長の推薦により、各科の主任教師として文学科にリスカム、理財科にドロップァーズ、法律科にウィグモアの3人の外国人教師が迎えられました。



当日は記念式典に続き、「福澤における『多事争論』と『官民調和』の相克」、「Learning from Europe in the 21st Century」と題した2つの講演会が行われ、参加者は熱心に耳を傾けていました。

また、学部独自の催しも数多く行われました。6月20日(土)に三田キャンパス南校舎ホールにて文学部125年記念講演会とシンポジウムが開催され、文明と尊厳の追究を続けてきた文学部の歩みを振り返りました。

9月14日(月)の大学部理財科創設125年記念講演会では、福澤諭吉の経済思想と理財科開設時の義塾における経済学とのつながりが改めて紹介されました。

KEIO AGEING WEEK 開催

慶應義塾では、10月4日(日)から9日(金)までを“KEIO AGEING WEEK”と位置づけ、世界経済フォーラム(WEF)、世界保健機関(WHO)、大阪大学等と連携し、健康に年を重ねる(Ageing)ことのできる長寿社会の課題解決に関するさまざまな国際会議や講演会を開催しました。「認知症社会における経済的挑戦と機会」(写真左)と題した国際会議では、超高齢化社会と認知症に関わる課題

が、医学や経済・社会、そして金融ビジネスそれぞれの観点から活発な議論が交わされました。

また、「第2回日英研究教育大学協議会」(写真右)において、清家塾長が義塾の進める「長寿」研究について発表しました。「長寿」分野の研究は義塾の強みでもあり、世界トップレベルの研究者を招き情報交換を行う貴重な機会となりました。



湘南藤沢キャンパス (SFC) 25周年記念式典挙行

1990年に開設されたSFCは、2015年に25周年を迎えました。節目にあたり、10月10日(土)に記念式典を秋祭と同時に開催しました。式典では、映像でSFCの25年の歩みを振り返るとともに、未来創造塾建設予定地であるEAST街区を中継で結びました。

SFCでは、25周年記念事業として「未来創造塾事業」

に取り組んでいます。未来創造塾は、SFCの全ての学生が留学生や世界の研究者と寝食を共にしながら学ぶことのできる滞在型教育・研究施設で、2015年度は学生も設計や建築に参加する「SBC (Student Build Campus)」プランが進行しています。式典後にはその上棟式が挙行されました。

午後にはさまざまな分野の最前線で活躍する卒業生による

記念シンポジウム「SFCの起業家たち」やホームカミングイベントが行われ、学生、卒業生、教職員が一体となってSFCの過去と未来を考える1日となりました。



健康マネジメント研究科開設 10周年記念シンポジウム開催

健康や長寿を考える分野横断的、学際的な研究科として2005年に開設された健康マネジメント研究科は、2015年に10周年を迎えました。8月22日(土)に開催された記念シンポジウム「先導者としての健康マネジメント」では、看護学・医療マネジメント学・スポーツマネジメント学の各専修の学位論文が紹介され、来場者はこの10年間における研究の広がりや深まりを再確認し、データ分析などの研究方法の変遷などをたどりました。



休憩時間に行われた記念のお祝い芸

「米国留学のスズメーケネディ駐日 大使から塾生へのメッセージ」開催

7月6日(月)、キャロライン・ケネディ駐日米国大使が三田キャンパスに来訪し、米国留学に関する学生たちとの対話を中心とした交流がありました。ケネディ大使は社会で活躍する義塾の卒業生や日本企業の国際化について触れ、学生には積極的に留学してほしいと語りかけました。3人の学生が参加したパネルディスカッションでは、留学することの利点や日米間における学生交換の促進などについて活発な意見交換が繰り広げられました。



普通部本校舎竣工

2013年12月に着工した普通部本校舎の立て替え工事が終了し、2015年2月9日（月）に本館地下1階の目路はるかホールにて竣工式が行われました。本校舎は地上3階の白亜の建物で、開放的な雰囲気に包まれています。式後の見学会では、広々とした廊下や明るい階段、ゆるやかなカーブを描く黒板、ゆったりとした教室などが好評を博しました。



大学病院1号館（I期棟）テープカット挙行

医学部は2017年度の創立100年を目指し、新病院棟を開設します。計画は順次進行しており、1号館（I期棟）オープニングセレモニーが9月10日（木）に信濃町キャンパスにて実施され、セレモニーの終わりにはテープカットも行われました。9月中旬からは病床の使用も開始しています。病院全体を杜（Forest）とすることをコンセプトとし、自然のぬくもりが感じられる落ち着いたデザインを取り入れています。



プロ野球ドラフト会議で山本泰寛君と横尾俊建君が指名を受ける

10月22日（木）にプロ野球ドラフト会議が行われ、体育会野球部副将の山本泰寛君（環境情報学部4年）が読売ジャイアンツより5位、主将の横尾俊建君（総合政策学部4年）が北海道日本ハムファイターズより6位指名を受けました。2人は指名後に記者会見に臨み、プロ野球選手としてのスタートラインに立てたことを喜ぶとともに、今後の抱負を語りました。



オンライン授業配信のFutureLearnに参加し、慶應義塾の教育を世界に発信

慶應義塾大学は2015年7月に英国のMOOCs（Massive Open Online Courses）配信事業者のFutureLearnと配信協定を締結し、日本からは初めての正式な参加機関となりました。

現在、義塾は世界各国の大学と盛んな学術交流を行っており、諸大学との研究協力関係をさらに強化することを目指しています。今後、義塾の世界レベルの研究・教育を通じた「知」の資産をもとに、日本ならではのコンテンツを含むさまざまな分野のMOOCsコンテンツを開発し、FutureLearnを通じて2016年より順次世界に向けて発信していきます。講義は全て無料で提供され、修了後にはFutureLearnから有料で修了証書の発行を受けることが可能です。

また、貴重な資料を豊富に有する大英博物館や大英図書館などの機関と連携したコンテンツの制作や配信も期待されます。

福澤諭吉と慶應義塾に関する動画を新たに3本公開

慶應義塾の歴史や成り立ち、創立者である福澤諭吉の生涯やその思想などについて、海外を含め多くの方々に紹介するための動画を新たに3本公開しました。言語は英語で、日本語と英語の字幕を用意しています。再生中に右下の「設定」ボタンを押すことで、字幕の切り替えや言語の選択が可能です。ぜひご覧ください。

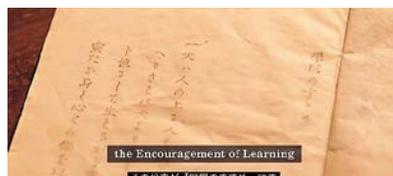
Yukichi Fukuzawa and the Founding of Keio University
(福澤諭吉と慶應義塾の創立 / 4分31秒)

URL <https://youtu.be/lrwHfGHb2po>



Yukichi Fukuzawa's Lifelong Fight
(闘う福澤諭吉 / 5分57秒)

URL <https://youtu.be/L0lae9MOFj0>



Yukichi Fukuzawa: Speaking for the Women of Japan
(福澤諭吉の女性観 / 5分45秒)

URL https://youtu.be/F0f_alzhU0k



山食カレー販売開始

三田キャンパスの学生食堂「山食」で長年親しまれている「山食カレー」。学生時代の思い出の味として記憶されている塾員の方も多いのではないのでしょうか。その「山食カレー」がこのたびレトルトになりました。懐かしの味をぜひご家庭でもお楽しみください。3個1セット1,200円(税込)で販売しています。下記サイトのほか、三田キャンパス「山食」および社会・地域連携室(北館2階)、日吉キャンパスコミュニケーション・プラザ(協生館2階)でも購入が可能です。



慶應義塾公式グッズ・オンラインストア
URL <http://keiogoods.jp/>

トムソン・ロイター社の 国際ランキングに相次いでランクイン

米国のトムソン・ロイター社が「企業のリーダー出身高等教育機関20校」を発表し、慶應義塾大学はビジネスリーダー育成に貢献している大学として高く評価され、世界14位に入りました。上位20校に選ばれたのは、日本国内では東京大学と慶應義塾大学のみです。

また、同社の「世界で最もイノベティブな大学100校」では58位に位置づけられました。このランキングは、大学の所有する特許や学術論文の引用情報から特許の国際性や影響力などを分析し、選定されたものです。

慶應義塾は今後も国際社会で活躍する人材の育成や高度な教育・研究を行う世界トップレベルの大学を目指し、挑戦を続けます。